

平成20年度事務事業評価表	担当	都市開発部 都市計画課	内線等	1333
---------------	----	-------------	-----	------

事務事業名	鉄道高架側道側壁関連整備事業			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	鉄道高架	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	都市基盤整備のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み			

事務事業の内容

対象(受益者)	鉄道高架の関連事業として
手 段	系統的な交通網を整備することによって
成果、目標	市街地の一体的な発展を図る

成果指標

成果指標名	事業進捗率		
成果指標の説明	$(\text{累積実績事業費} / \text{総事業費}) \times 100$		
指標の推移	平成19年度決算(実績)	平成20年度決算(実績)	平成21年度予算(計画)
成果指標	41.96%	49.27%	57.98%
成果指標			

事業の概要

項 目	平成19年度実績		平成20年度実績		平成21年度計画	
整備事業費	用地測量等委託	2,829千円	市有地樹木伐採委託	3,938千円	道路詳細設計委託外	8,500千円
	舗装整備工事外15件	15,306千円	歩道整備工事外24件	53,343千円	道路整備工事5路線外	76,875千円
			不動産鑑定手数料2件	2,716千円	用地買収2件外	14,960千円
			用地買収2件	24,235千円		

事業にかかる人工

(単位：人)

人工計	1.55人	次長課長級	0.55人	補佐級	0.50人	係長級	0.00人	一般職	0.50人	非常勤	0.00人	再任用	0.00人
-----	-------	-------	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

人件費を含む事業費	事業費	85,187
	人件費	13,050
	合計	98,237
財源内訳	特定財源	0
	一般財源	98,237

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	愛知県主体の連続立体交差事業は道路復旧工事までの事業であり、平成19年度末に終了しました。平成20年度からは鉄道高架沿いの鉄道用地を整理しつつ、国の補助金等を活用して、市が道路整備を行っています。これらの道路は鉄道で分断されていた南北交通の円滑化を促進するもので、街の一体化を図る上で重要な道路であるため、今後も補助金等を活用して市が実施していきます。
-------------	----	--

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
------	-------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	東海旅客鉄道(株)との土地交換契約を締結しました。現在、事務的処理を進めています。 また、側道整備工事については、蒲郡駅を中心に整備しています。
現在の課題、問題点	東海旅客鉄道(株)との用地処理が完了しました。次に名古屋鉄道(株)の用地処理を順次取り組む必要がある。 側道整備により街の南北一体化が進むと思われるが、高架下や高架沿いに雑草が繁茂又はゴミの投棄等が街づくりになりません。高架下の維持管理方法等を検討する必要があります。
今後の改善計画	名古屋鉄道(株)との用地処理については、市関係部署とも協議し、順次進めていく。 高架下の土地所有者は鉄道会社ではあるが、街づくりのためには高架下で民間開発できる道筋や維持管理方法等について、鉄道会社と話合う。